

岬町タイムライン防災の取り組みについて



令和7年5月29日（木）
まちづくり戦略室 危機管理担当

- 岬町の概要
- 町タイムラインについて
- 岬町タイムライン防災プロジェクト

面積：49.18km²
世帯：7,389世帯
人口：14,181人
男性：6,638人
女性：7,543人
高齢化率：40.7%

令和7年3月31日現在



参加機関：
大阪府岸和田土木事務所
地域支援・防災グループ
泉南警察署
自主防災組織（住民）
消防団
民生委員・児童委員
岬町危機管理担当

工程：全3回
第1回 学習会
第2回 まち歩き
第3回 グループワーク

自主防災組織

淡輪16区
世帯数 227
人口
自主防災組織
加入率 100%

淡輪13区
世帯数 20
人口
自主防災組織
加入率 100%

過去の災害から得た教訓として・・・

自然に人間は敵わない！ 災害は必ずやってくる
被害が起こる前に逃げる

平時からの心構えと準備

早めの避難行動

岬町タイムライン防災プロジェクト

タイムラインとは

大規模災害はいずれ発生することを前提に、住民の命を守り、被害を最小限化することを目的として、防災関係機関が連携して、災害時に発生する状況を予め想定し、共有した上で、「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列に整理した計画

コミュニティタイムラインとは

自治区や小学校校区など小さな区域を対象とし、住民や自主防災組織などの避難行動を記載し、市町村と地域と一緒に作成する地域版タイムライン。多機関の参画により、それぞれの視点から防災について考え、意見を出し合い、時系列に整理した計画



作成手順

ステップ①：対象地区の選定

- ・地域の選定
洪水・高潮浸水想定区域内や、土砂災害警戒区域等に含まれる地域
- ・地域代表への確認
学習会やグループワークの開催場所
完成までのフローを作成（学習会・まち歩き・グループワーク）

ステップ②：学習会の開催（地域の危機事象の共有）

- ・学習会での対応
事前準備「会場の確保」、「地域への案内」、「資料の作成」
役割分担「受付」「案内」「司会・進行」「事務連絡等」

ステップ③：まち歩きの実施

- ・まち歩きでの対応
事前準備「地域への案内」、「筆記具等の準備」「地図の作成（A2, A1程度が好ましい）」
当日内容「備品の配布（文具、メモ用紙等）」「まち歩きの補助・助言」「災害リスク等の補足」

ステップ④：グループワークの開催

- ・グループワークでの対応
事前準備「会場の確保」、「地域への案内」、「資料の作成」
役割分担「受付」「案内」「司会・進行」「事務連絡等」

ステップ⑤：とりまとめ、自主防災組織等への提供

- ・とりまとめ作業
最終工程終了後は、とりまとめを行い（素案）を作成し、参加機関等にも意見照会を行い、完成版を作成する。
完成版作成後は、作成地域に提供し、適宜更新・修正を行っていただく。

タイムラインによる防災対策

・「タイムライン防災」とは

事前に予測できる台風や前線などを要因とする風水害に対し、住民の命を守ることを目的として、地域の防災関係機関が「いつ（どのタイミング）」「何を（どのような行動）」「誰が（各機関の行動）」の3つの要素を協議し、防災行動として整理したものです。

行動時間 (いつ)		行動項目 (何を)		連携・調整機関 (誰が)
●	時間前に	行動内容	行動基準	組織・団体名
<ul style="list-style-type: none"> ■ 平時から ■ 上陸72時間前 ■ 上陸後（進路確定後） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平时间段階に定める項目 ■ 上陸までの行動項目 ■ 上陸後の避難行動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自主防災組織 ■ 民生委員・児童委員 ■ 消防団 ■ その他関係団体 		

淡輪16区および、13区コミュニティタイムライン（土砂災害）

日頃からのコミュニケーションが大切！！

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注1）	市町村の避難情報 警戒レベル	地域住民		地域の動き				
			避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他	
	台風進路情報 早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			テレビ、ラジオ、インターネットで台風情報を確認	近隣からの声かけ、注意喚起 自治区（16区）で連絡体制の確立	名簿等を作成し、要配慮者の名前、住所、連絡方法を確認	自治区内の危険箇所及び、浸水・脱走路の巡回点検。	危険箇所を事前に書面などで周知する。	
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	冠水注意情報 （冠水注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅台風対策実施 ・食料・ラジオ・ライト等点検	必要支援を要請	自治区で情報収集、共有して、区長、民生委員に提供する。 避難所開設の準備をする。	名簿等を作成し、要配慮者のお名前、住所、連絡方法を確認	9時は、避難を想定して、準備する。避難経路の安全確認。 避難希望者に準備を促す。	自主的な避難者の受け入れ 応援・避難者名簿の作成
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	冠水警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設準備 高齢者等避難	自主避難開始	避難開始 家族や地域が連携した避難開始	TEL・訪問し、避難所を開設し、高齢者等に伝え避難を促す。 区長から増員に避難所を開設し、増員を連絡する。増員から全住民に連絡する。避難所開設を役場に連絡する。	避難対象者を事前に把握する。要配慮者の安否確認及び、避難意思の確認（TEL・訪問） 避難者名簿を作成する。	要配慮者の避難の介助を行う。 避難経路の現状確認 寒い・暑い等の準備をする。	避難者の受け入れ 担当人員の配置 各種名簿の作成 連絡漏れ等の確認
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	冠水危険情報 （冠水危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	近所に声を掛けながら避難	避難完了	避難所内にて、避難者及び、在宅避難者を自治区役員での情報共有を行う。 避難状況を役場に報告する。	避難者名簿を作成する。負傷及び、持病等も記入する。 ※救助の必要が有る場合は、消防署に連絡する。 孤立家庭など早期救助先を役場へ連絡	避難経路の安全確認をする。	要配慮者名簿に基づいた声掛け及び、受け入れ 避難者名簿の作成 担当人員の配置 備品の配布 各種名簿の作成 連絡漏れ等の確認
	大雨特別警報 高潮冠水発生情報	冠水発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	逃げ遅れた人は、自宅内の災害の受けにくい場所へ避難し、安全確認する。		在宅避難者を把握する。 在宅避難者には、外出しないように連絡をする。	在宅住民で孤立している場合には、その旨を役場に連絡する。上記の者が救助を要する場合には、直ちに消防へ連絡する。		備品の確認及び、準備 防災行政無線の確認

（注1）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります

連絡先 岬町：072-492-2001

岬町消防署	072-492-0119
泉州警察署	072-471-1234
与田病院	072-495-0801
関西電力送配電（停電時）	0800-777-3081
災害用伝言ダイヤル	伝言の録音は ①
①の①	伝言の再生は ②

避難に関する参考情報

河川防災情報	
https://www.saka-kagen.com/entry/2018/08/01/20180801.html	
洪水リスク表示図	
http://www.cwr-cmf.co.jp/	
土砂キキクル	
https://www.fsa.go.jp/hoon/kyuuten-dofubaraa_kou-04en2016naa_cde-273600	

ご清聴ありがとうございました。



山 甲 町